

取扱説明書

スーパーフォグシステム

Digi Mist

R03 2017/5



このたびはスーパーフォグシステムをお買い上げいただき
誠にありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性格、
性能を十分ご理解の上、適切な取り扱いと保守をしていただき、
いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

—目次—

安全に使用していただくために	B1
重要ラベル	D1
各部の名称	D2
仕様	D4
運転準備	D5
運転方法	D10
使用後の取り扱い	D11
保守・点検について	D12
定期点検項目	D16
故障診断	D17
電気回路図	D18
無料修理規定	E1
わからない事や、故障したら	E2
スーパーエース保証書	E3

安全に使用していただくために

本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使いいただく限り、お客様には十分満足いただけるものと信じております。

本書に従わなかった場合、重大な事故の原因になります。

本書中、および本製品に貼付した警告表示で使用している安全標識とその意味はつぎのとおりです。



誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いものを示す内容です。



誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容です。



誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容です。

- 本書中で  **危険**  **警告** が付いた記載事項は、取扱い上特に重要な注意事項です。注意を怠った場合には、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いので必ずお守りください。

- なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので 必ず守ってください。

当社は、あらゆる環境下における運転・点検・整備のすべての危険を予測することはできません。

したがって、本書や当製品に明記されている警告は、安全のすべてを網羅したものではありません。

本書に書かれていない運転・点検・整備を行った場合、安全に対する配慮が必要です。取扱店とよくご相談ください。

⚠ 危険

- ・ 本機は非常に高い圧力水を発生します。すべての危険、警告、注意事項をご確認の上、ご使用ください。
- ・ 高圧水により、人体が負傷した場合、思わぬ事態になっている事が有りますので、早急に医学的処置を必ず行ってください。
- ・ 本機のまわりに引火物を置かないで下さい。また、引火物が充満するような場所で使用しないでください。
- ・ 降雨や雷鳴時には屋外で使用しないでください。感電や落雷の危険があります。
- ・ 本機を使用中、異常を感じたら直ちに機械の使用を中止してください。
- ・ 本機のすべての部材は高圧力に耐える規格品を使用しておりますので、メーカー純正部品を使用してください。改造は絶対にしないでください。又、本機付属品は、磨耗や破損等が認められる場合には、直ちに当社販売店まで相談してください。

⚠ 警告

- ・ 本機は水平な場所に設置し、動き出さないような措置をしてください。床面のしっかりした場所で、建物や、設備から1m以上離して使用してください。
- ・ 本体のカバー類を取り外したまま絶対に使用しないでください。
- ・ 本機に水や油などがかからないようにしてください。かかった時は乾いた布でよく拭き、十分に乾燥させてください。
- ・ フォグノズル、ミストホースなどの接続はゆるんだり、外れたりすることのないように確実に接続してください。
- ・ 運転中は、ミストホースを引っ張らないでください。
- ・ フォグノズルの前方1m以内に人が入らないようにしてください。
- ・ フォグノズルの出口付近は高圧水が噴霧されますので、むやみに身体を近づけないでください。



- ・ 運転中は、本機のまわりをよく見て安全を確認してください。
- ・ 吐出された水を飲用などに用いないでください。
- ・ 衛生上、必ず水道水を使用してください。またゴミ等を吸いますと、故障の原因となり、本機の能力の低下及び損傷につながりますので注意してください。
- ・ 工業用水、井戸水、海水など不純物の混入した水を使用すると故障の原因になります。
- ・ 洗剤、化学薬品等は絶対に使用しないでください。
- ・ 本機使用の推奨温度は0℃～40℃までです。吸水温度は最高40℃までです。
- ・ 圧力は、出荷時に規定圧力に調整していますので圧力調整はしないでください。
- ・ 冬期、凍結の恐れのある場合は必ず水抜きの作業を行ってください。ポンプが凍結しますと重大な故障の原因となります。
- ・ 冬期、水抜きを忘れ、凍結をしていると思われるときは、ぬるま湯等で高圧ポンプ及び配管ほか付属品の氷を溶かしてからご使用ください。むりに原動機を起動させますと故障の原因となりますので注意してください。
- ・ 本機の点検、整備、調整を行う場合必ず原動機を停止させ圧力を抜いた後に熱部の冷却等を確認し安全に作業を行ってください。
- ・ 日常点検、整備を必ず行い本機を常に良好な状態にしておいてください。不具合がある状態や問題のある状態で操作すると、ケガをしたり本機が故障する原因となります。
- ・ アスベストや危険粉塵を含む環境や放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。

 **危険**

- ・必ずアース（接地）をしてください。アース端子の無いコンセントを使用する場合の設備については電気工事店にご相談ください。（電気設備技術基準の解釈 第 18～28 条により設置工事を行ってください。）
- ・アース線をガス管に接続しないでください。火災、爆発の原因になります。
- ・ケーブルを踏んだりひっぱったり、上に物をのせたりせず大切に扱ってください。また、加工しないでください。火災、感電の原因になります。
- ・ケーブルが損傷している場合は、そのまま使用しないでください。
- ・本機や通電部分（各種装置、ケーブル、コンセントなど）に、水がかからないようにしてください。また、濡れた手で通電部分をさわらないでください。
- ・電源が切られていない状態で、点検、整備をしないでください。感電のおそれがあり、非常に危険です。必ず本機スイッチを切(OFF)にし、さらに元電源を切ってから作業してください。

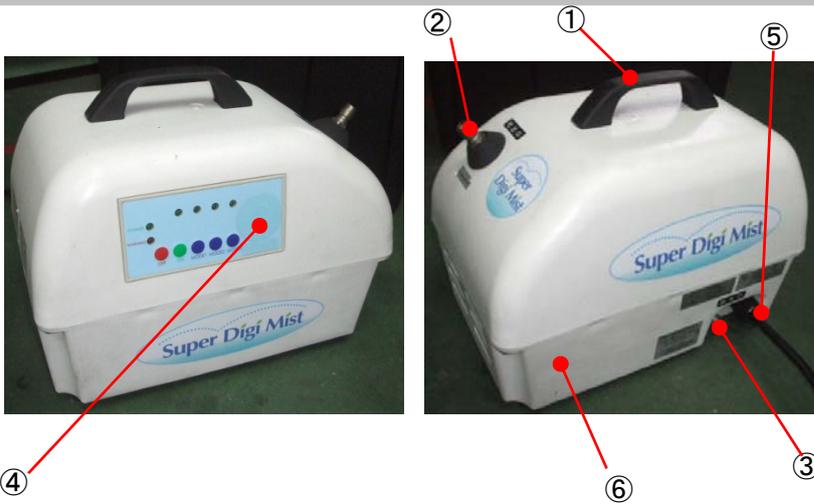
 **警告**

- ・エンジン溶接機など正弦波でない電源は、本機のタイマーや電子機器を焼損させますので使用しないでください。
- ・昇圧器などのトランス類は使用しないでください。故障や発火、発熱、焼損の原因になります。
- ・運転中、および停止直後はモータ本体や、周辺が熱くなっていますから、手や肌が触れないようにしてください。
- ・専用の漏電遮断器を必ず取り付けてください。

 **注意**

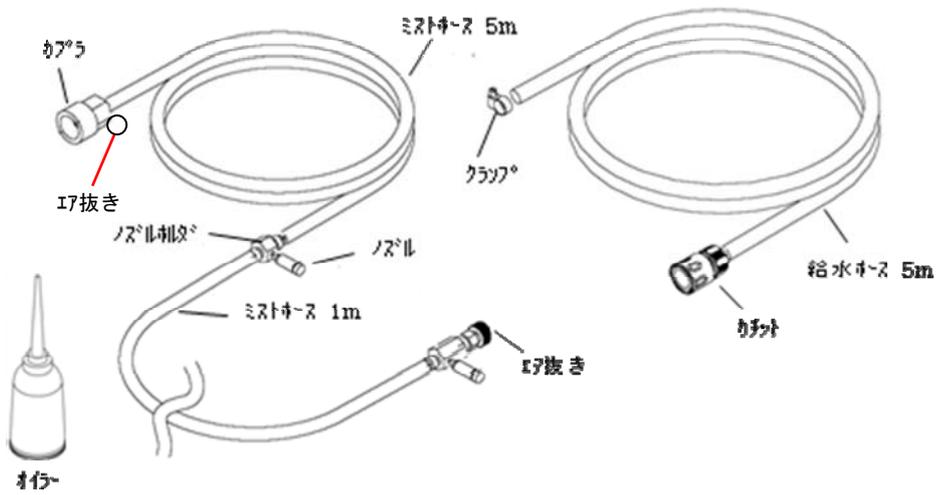
- ・運転中、停電または故障などで電源が切れた時は、本機のスイッチを必ず切(OFF)にしてください。
- ・指定の電圧・周波数で使用してください。電気部品の損傷につながります。

各部の名称



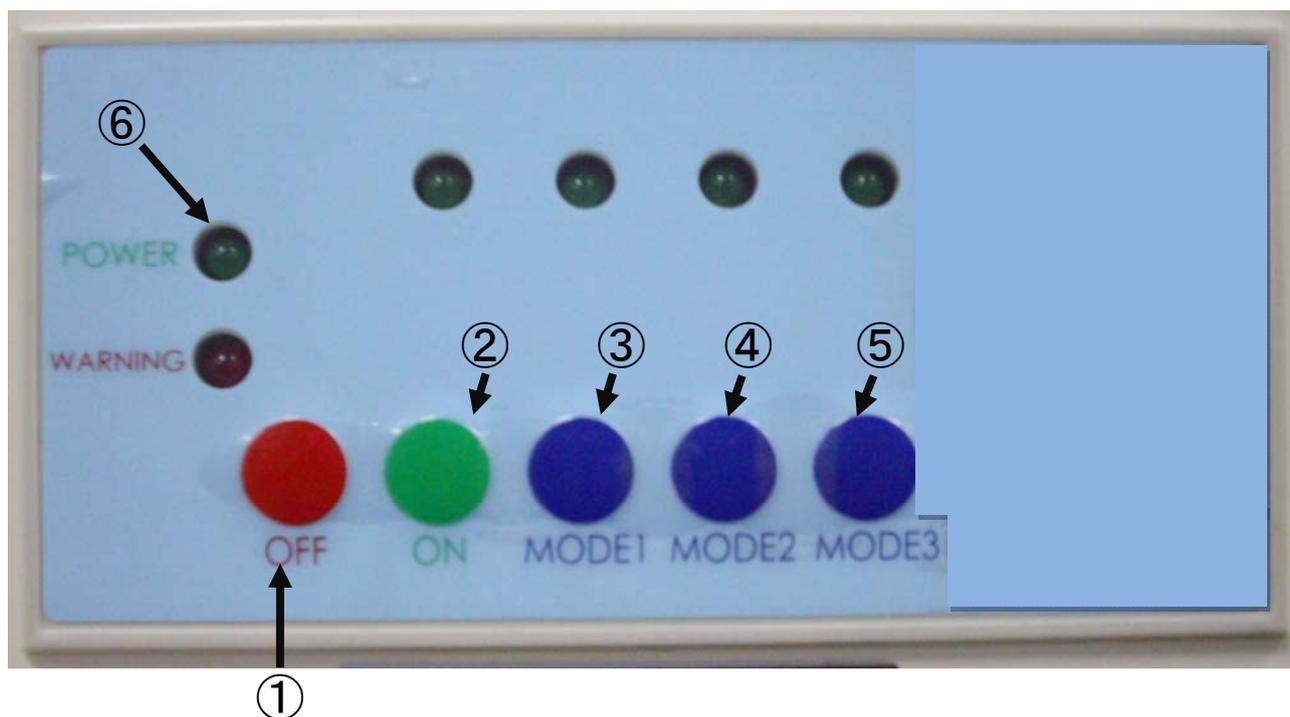
NO.	名称
①	取手
②	吐出口
③	給水口
④	操作パネル
⑤	キャプタイヤコード
⑥	カバー

・標準付属品



標準付属品 名称	数量
ミストホース 5m (カプ・エア抜き付)	1
ミストホース 1m	4
ノズルホルダ	4
ノズルホルダ (エア抜き付)	1
ノズル SUPER06 (フィルタ付)	5
給水ホース φ15 (カチット付)	1
ファインクランプ	1
オイル	1

各部の名称



No.	名称	役割
①	OFF スイッチ	運転を停止させるスイッチです。
②	ON スイッチ	連続運転させるスイッチです。
③	MODE1 スイッチ	間欠運転(50秒 ON、15秒 OFF)させるスイッチです。
④	MODE2 スイッチ	間欠運転(50秒 ON、30秒 OFF)させるスイッチです。
⑤	MODE3 スイッチ	間欠運転(50秒 ON、50秒 OFF)させるスイッチです。
⑥	電源ランプ	電源投入時に点灯します。

※このモデルは「WARNING」ランプが点灯する機能はありません。

仕 様

名称	スーパーフォグシステム
型式	Digi Mist
圧力 MPa (kgf/cm ²)	4.9 (50)
水量 (L/min)	1.1/1.3 50/60Hz
回転数 (min ⁻¹)	1450/1750 50/60Hz
出力	0.25kw
定格電圧	動力回路:100V/操作回路 100V
電流	5.0A/4.0A 50Hz/60Hz (絶縁:E種)
寸法 L×W×H (mm)	385×295×325
本機乾燥質量 (kg)	約 13.5
給水ホース	5m(カチット付き)
ミストホース	5m-1本 1.0m-4本
ミストノズル	SUPERJ06×5個
ストレーナ	ラインフィルタ 3/4
標準装備品	間欠運転装置 エア抜き(手動) 高圧ラインフィルタ(70μm)
特記事項	水道直結専用 凍結不可 雨天時屋外使用禁止

運転準備

1. 移動

⚠ 注意

- ・移動時には必ず取手を持って運搬してください。
- ・本機を落下させないでください。プラスチックカバーが破損するおそれがあります。



取手

2. 設置

⚠ 警告

- ・設置する際は必ず床面のしっかりした平坦な場所に設置してください。
- ・降雨や雷鳴時には屋外で使用しないでください。感電や落雷の危険があります。

⚠ 注意

- ・本機を通気の悪い場所に設置しないでください。
- ・塵や埃の多い場所に設置しないでください。
- ・本機にビニールカバー等をかけた状態で運転しないでください。

3. フォグノズルの個数

⚠ 注意

- ・このフォグユニットは、適正なノズル個数が決められています。(SUPERJ06 × 5~10 個)
- ・適正ノズル個数以上で使用した場合、圧力調整が不安定になる場合がありますので避けてください。

4. 電源の接続

(1) 電源の接続

⚠ 危険

- ・キャブタイヤコードは確実にコンセントに差し込んでください。
- ・必ずアース（接地）をしてください。アース端子の無いコンセントを使用する場合の設備については、電気工事店にご相談ください。
- ・電源には安全の為、ヒューズ、もしくはノーヒューズブレーカを使用し必ず漏電ブレーカも設置してください。

運転準備

(2) 発電機によるモータ始動



- ・発電機によりモータを直入始動する際、容量に十分余力がないと、電圧ドロップを起こし、電装部品の焼損や回転数が低下し能力低下、モータの焼損を起こします。下記の発電機容量を目安として参考にしてください。

定格消費電力	周波数	参考容量
0.41kw	50Hz / 60Hz	2.6KVA 以上

(3) キャプタイヤコードの延長



細いコードを使用しますと電圧ドロップが起こり、始動不能、回転数の低下などの重大な故障の原因につながりますので注意してください。(下記参照)

モータ出力	定格電流	標準付属のキャプタイヤ	延長する場合のコード (延長コード長さ)
0.25kw	5A	2.0mm ² x 5m	3C 2.0mm ² (30m 以内)

※電圧ドロップの影響がありますので、コード総延長は 35m 以内にしてください。

運転準備

5. 各ホースの接続と設置

(1) ミストホースの設置

結束バンド等でミストホースを任意の場所に固定してください。

⚠️ 注意

- ・ミストホースが建物などの角や、鋭利な部分に当たると破損することがあります。設置はそのような場所を避けるか、保護等を行ってください。
- ・ホースを固定する結束バンドは、ホースを傷つける恐れのないナイロン素材のものをお選びください。
- ・エア抜きは、エア抜き時に水が出ます。濡れても問題のない位置に設置してください。

(2) ミストホースの接続

ミストホースのカプラを本機の吐出口にしっかりと
はめ込み、一度引っ張って抜けがないことを確認し
てください。



(3) 給水ホース、本機給水口の接続

給水ホースのカチットメスを本機給水口に手でしっ
かりとはめ込み、一度引っ張って抜けがないことを
確認してください。

①カチットメスのスライダー（緑色）を親指でスライ
ドさせます。



②スライドさせたままカチットを止まるまで本機の給
水口に押し込みます。



③親指を放して、その後、一度引っ張って抜
けがないことを確認してください。

運転準備

④給水ホース、水道の接続

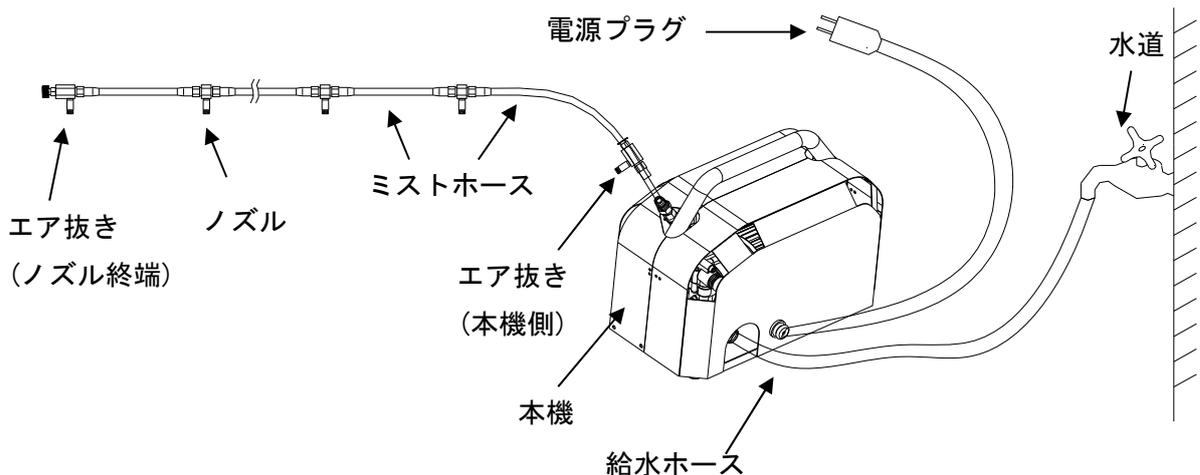
給水ホースの水道側を蛇口に差し込み、+ドライバーでクランプをしめて固定してください。

(※水道の蛇口によっては取り付けできない場合があります。その場合は専門店にご相談ください。)



⚠注意

- ・カチットの挿入がゆるい場合、接続口から水が漏れて飛散し、周囲を濡らすおそれがあります。蛇口は徐々にゆっくりと開け、水漏れがないことを確認してください。
- ・カチットの接続口に無理な力が掛かると水漏れすることがありますので、給水ホースの取回しに注意してください。
- ・必ず水道直結にてご使用ください。本機より吐出された霧は人体に吸収されますので、水道水以外の水を噴霧すると、衛生上問題になる恐れがあります。
- ・水道ホースを給水口に取り付ける際は、水量 12L/min 以上、圧力 0.2MPa 以上、0.5MPa 以下の水道水をご使用ください。
- ・フォグノズルの穴は非常に細かいのでゴミを吸いますと、詰まりの原因となります。また、故障の原因となり、本機の能力の低下及び損傷につながります。特に、ミストホースの脱着の際はゴミ等が入らないようご注意ください。



運転準備

6. ミストホースの組立

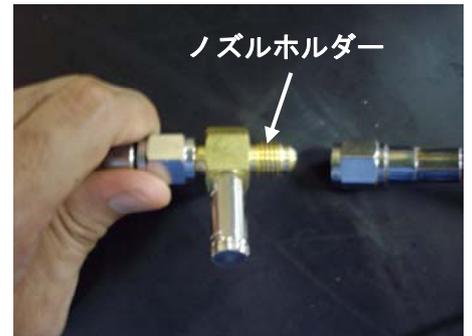
⚠注意

- ・ノズルホルダ、ノズル、ミストホースは接続して出荷しており、そのまま設置することが出来ますが、実際の設置ではノズルの向きが全て同じ位置にならず、調整が必要な場合があります。接続を外して再度組み立てを行う場合は、下記の要領で行ってください。
- ・ノズルホルダとミストホースの接続部から水漏れが止まらない場合は、ネジ山に市販の水道用シールテープを2巻ほど巻いてから締め付けを行ってください。

(1) ノズルホルダー、ミストホースの取付

ノズルホルダーにミストホースを奥まで確実に14mmスパナでねじ込み、締め付けてください。

※ノズル角度の修正はノズルホルダー両端のミストホース金具を緩め修正し再度14mmスパナで締め付けて下さい。

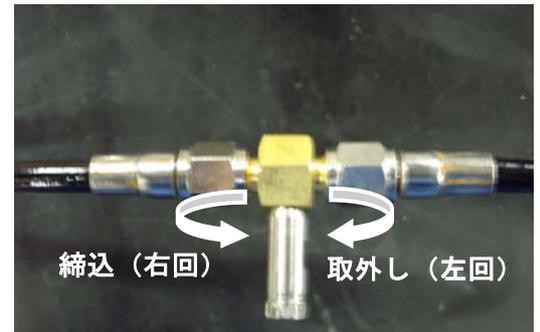


⚠注意

- ・締め付けトルク「5~10N・m」を目安として、締めすぎに注意してください。

(2) ノズルの取付

ノズルを手でしっかりと締め込んでください。



(3) ドレンコックの取付

末端ミストホースにエア抜きをねじこみ、14mmスパナで締め付けてください。

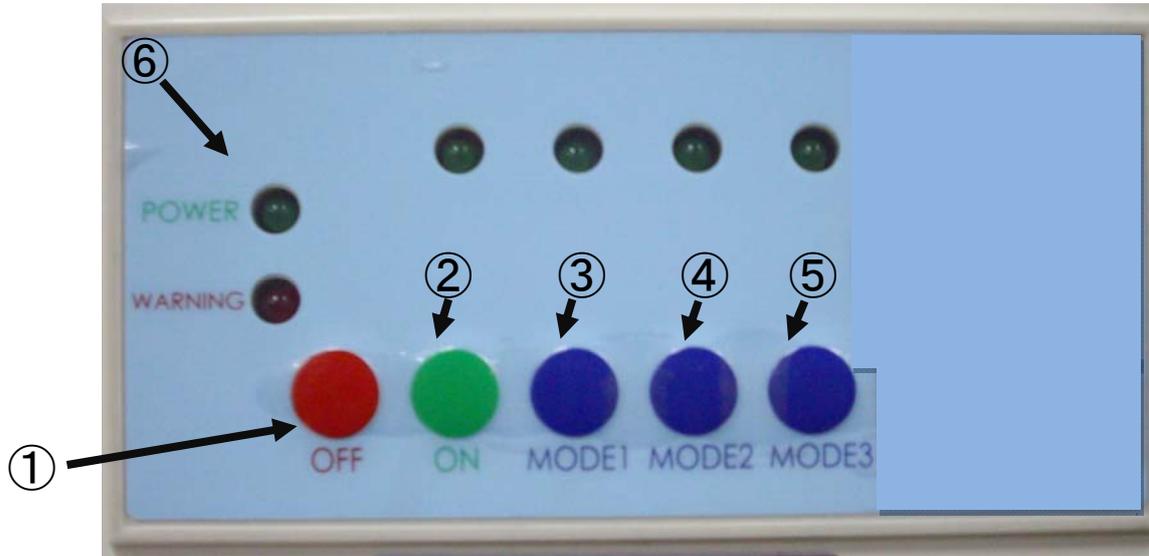
⚠注意

エア抜き時に水がでます。
濡れても問題のない位置に設置してください。



運転方法

1. 操作パネル



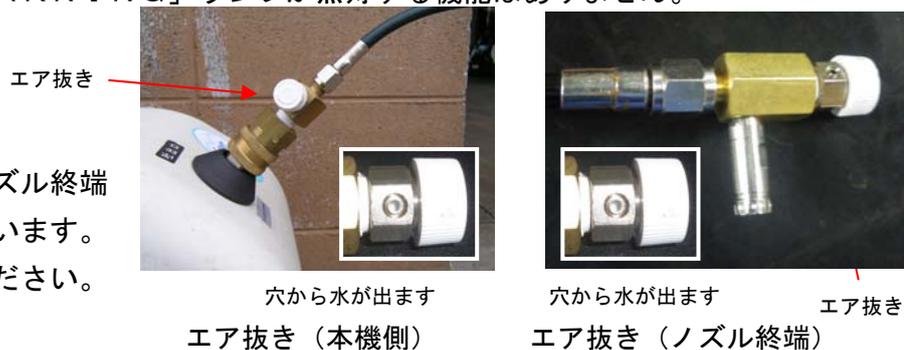
No.	名称	役割
①	OFF スイッチ	運転を停止させるスイッチです。
②	ON スイッチ	連続運転させるスイッチです。
③	MODE1 スイッチ	間欠運転（50秒 ON、15秒 OFF）させるスイッチです。
④	MODE2 スイッチ	間欠運転（50秒 ON、30秒 OFF）させるスイッチです。
⑤	MODE3 スイッチ	間欠運転（50秒 ON、50秒 OFF）させるスイッチです。
⑥	電源ランプ	電源投入時に点灯します。

※このモデルは「WARNING」ランプが点灯する機能はありません。

2. 運転方法

(1) エア抜き操作

エア抜きは本機側とノズル終端の2ヶ所に装備されています。どちらかを操作してください。



- ①ノズル終端のエア抜きを反時計回りに約一周程度回して開きます。
- ②パネルのON スイッチを押してください。
- ③しばらく運転し、エア抜きから勢いよく水が出たらノズル終端のエア抜きを閉めてください
- ④ノズルからミストが出れば完了です。

⚠️ 注意

- ・エア抜きから勢いよく水が出ますので注意してください。
- ・エア抜き操作が不完全な場合、ミストが完全に噴射されない場合があります、その場合は再度エア抜きの操作を繰り返してください。

運転方法

(2) 連続運転

- ②の ON スイッチを押して、運転を開始してください。
- ①の OFF スイッチが押されるまで、連続運転します。

(3) 間欠運転設定

- 一定時間ごとにミストの吐出/停止を繰り返します。
- ③/④/⑤の MODE1/MODE2/MODE3 スイッチのいずれかを押し、運転を開始してください。
- ①の OFF スイッチが押されるまで間欠運転します。

使用後の取扱い

1. 本機内の水抜き方法

- ①本機側かホース終端どちらかのエア抜き
エア抜きを開き連続運転を行ってください。
(連続運転の手順はページ.D10の2項を
参照してください。)



穴から水が出ます
エア抜き（本機側）



穴から水が出ます
エア抜き（ノズル終端）

- ②水道の蛇口を締め、エア抜きからしばらく
水を出してください。

- ③エア抜きから出る水が途切れ気味になったら、
速やかに停止させてください（OFF スイッチを押してください。）

⚠注意

- ・使用していないときは必ず上記の手順で水抜き操作を行ってください。
- ・エア抜きから勢いよく水が出ますので注意してください。

2. 寒冷地での使用

⚠注意

- ・気温が0℃以下のときは原則として使用しないでください。凍結によりポンプが損傷します。
- ・使用後の保管場所が凍結のおそれがある場合、必ず水抜きをしてください。ホースを含む本機内の水経路内に凍結が発生したまま運転しますと必ず損傷しますので十分注意してください。

3. 使用後の保管

⚠危険

- ・使用しないときは屋内で保管してください。本機が雨に濡れたまま使用すると漏電・感電のおそれがあります。

保守・点検について

警告

本機の保守・点検を行う場合は本機の OFF スwitchを押して、さらにコンセントからキャブタイヤコードを抜いてから行ってください。

オールドレンプラグ

1. ポンプオイルの交換

・高圧ポンプの潤滑油は 200 時間使用（初回は 50 時間）もしくは 90 日経過ごとに交換してください。

①本機底面よりオールドレンプラグをゆるめてオイルを抜いてください。（カバーにオイル抜き用の穴があります。その下にオイル受けで受けて下さい。）

②オイルが抜けましたら、オールドレンプラグを元通り締め付けてください。

③+ドライバーでネジ 4 本を外し、8 ヶ所のツメを外しカバーを取り外します。ポンプのオイルフィルターキャップを取り外し、SAE10W-30 の自動車用エンジンオイル（容量：約 0.12L）を付属のオイラーで計量して入れてください。



+ドライバーでネジ 4 本を外し、8 ヶ所のツメを外し上カバーを取り外します。



ツメ



注意

オイル交換後、オールドレンプラグ等ポンプ底部からのオイルの漏れ、にじみなどがなければ必ず点検してください。オイル漏れでオイルが少なくなると、ポンプの駆動部分が焼き付きをおこして損傷するおそれがあります。

保守・点検について

2. 電装関係の点検

- ・キャプタイヤコード、コンセントプラグに傷等、緩みがないか点検してください。
- ・モータ、電磁開閉器、コンセントなどが水にぬれた場合、十分に乾燥させ絶縁抵抗をチェックしてください。

3. 配管・付属品の点検

ミストホース、給水ホース、フログノズル等に摩耗、破損、水もれがないか点検してください。異常がある場合はただちに修理・交換してください。

4. 給水口ラインフィルタの清掃

- ・年に1回程度、ラインフィルタの清掃を行ってください。
- ・ラインフィルタの位置は給水口にありますので、取りはずしてエアもしくは清水で清掃してください。

5. 洗浄排水の手順

24時間以上未使用の場合、必ず洗浄排水を行ってください。水質が悪化している可能性がありますので、そのまま使用すると、吐出されたミストで健康を害するおそれがあり、衛生上問題があります。

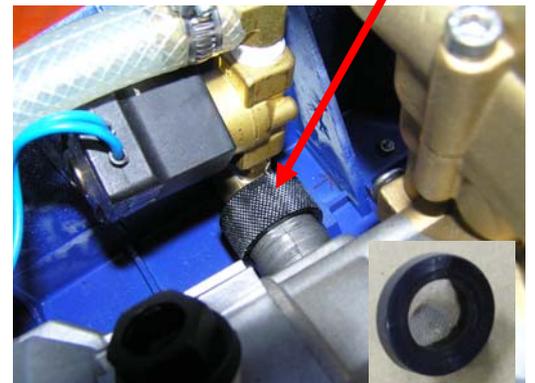
手順は以下のとおりです。

- ① ホース終端のエア抜きを開いてください。
- ② 1分程度連続運転を行ってください。（連続運転の手順はページ D10(2) 項を参照してください。）

※エア抜きから水が出ることを確認して、そのまましばらく運転します。

- ③ その後、運転操作手順（ページ D10）に従って運転を開始してください。

給水口に付属



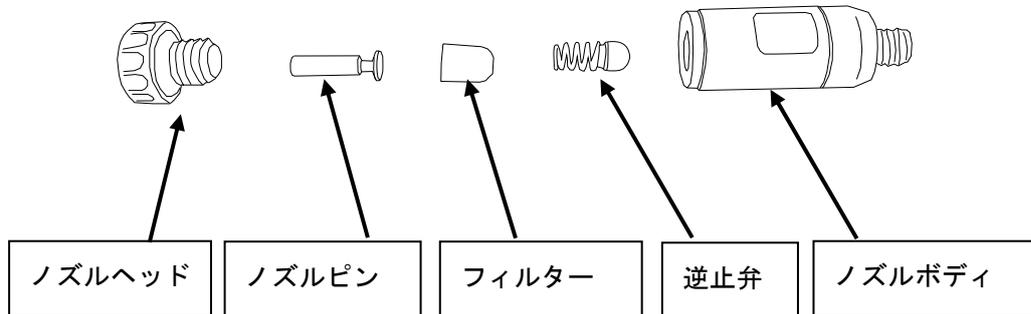
⚠ 注意

水抜き時にエア抜きから水が出ます。水に濡れても問題のない位置に設置してください。

保守・点検について

6. ノズルの清掃

(1) ノズルの清掃



- ・ フォグの噴霧パターンが異常な（円すい状に出ない、均一に出ない）場合
- ・ 霧が全く吐出されない場合
- ・ 本機停止時に特定のノズル先端から常に水がたれる場合

以上のような症状はフォグノズル内のゴミ詰まりが考えられますので、フォグノズルを清掃してください。

(2) ノズルの清掃方法

- ① フォグノズルは上の写真のように分解できます。
- ② ノズルヘッドの穴とノズルピンの先端をエアもしくはパーツクリーナで清掃し、元通り組み付けてください。
- ③ また、本機停止時に特定のノズル先端から常に水がたれる場合は、そのノズルの逆止弁を清掃してください。

※ノズルを清掃しても症状が改善されない場合は、フォグノズルを交換してください。

警告

フォグノズル組み付け時に必ずノズルピンを忘れずにノズルヘッドに挿入してください。ノズルピンを忘れた場合、運転時に高圧水が直射されますので、直射水が人体に当たった場合、ケガをするおそれがあります。

保守・点検について

7. 高圧ラインフィルタの清掃

200 時間ごとに高圧ラインフィルタのエレメントをエアなどで清掃してください。

⚠ 注意

清掃後、元通り組み立てる際は O リングを忘れず入れてください。



高圧ラインフィルタ-Oリング

高圧ラインフィルタ-エレメント

ワンタッチカプ ラオス

⚠ 注意

保守・点検について不明・不安な点がございましたら、無理に自分で行わず販売店へご相談ください。

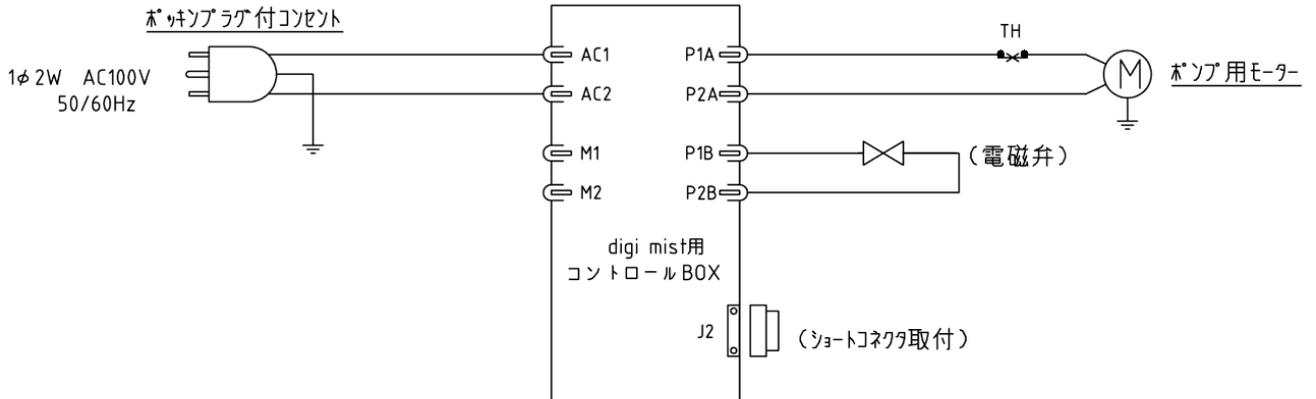
定期点検項目

点検項目	時間（各時間ごとに実施）				
	作業前	50h	100h	200h	300h
【機体】					
各部の締付点検	○				
各部の水もれ点検	○				
各部のオイルもれ点検	○				
異常音、異常振動の点検	○				
ベースとカバー等の損傷、変形の点検	○				
重要ラベル（PL）の剥がれ、汚れ、破れの点検	○				
【ホース】					
給水ホースおよびパッキンの点検	○				
ストレーナ、ラインフィルタ、ラインストレーナの点検・清掃	○				
高圧チューブ、カプラおよびパッキンの点検	○				
フォグノズル、フォグチューブの水もれ点検	○				
【配線】					
配線外被の損傷点検	○				
配線結束状態の点検	○				
配線端子のゆるみ点検	○				
【配管】					
中間ホースの点検	○				
アンローダの点検・清掃					●
【高圧ポンプ】					
オイルの点検	○				
オイルの交換		○（初回のみ）		○	
高圧ラインフィルタの清掃				○	
給水口ラインフィルタの清掃					○/又は一年ごと
バルブの点検					●
シールの交換					●
プランジャーの点検					●
【モータ】					
絶縁抵抗の測定					●
* 点検の際は必ずスイッチを切（停止）にして、さらに一次側電源を切ってください。					
* 上記の時間は点検の目安であり耐久時間を示したものではありません。					
* 使用条件によっては表記時間より早期の点検が必要となる場合があります。					
* ●は技術や専用の工具を必要としますので、お買い上げ販売店にお申しつけください。					

故障診断

症 状	原 因	対 策
フォグノズルから霧が出ない。	フォグノズルのつまり	フォグノズルの清掃
	フォグホース内のエア噛み	エア抜きをする
	高圧ラインフィルタの詰まり	高圧ラインフィルタの清掃
	給水口ラインフィルタの詰まり	高圧ラインフィルタの清掃
	水道水が供給されていない	水道の元栓を開く
	ポンプ内のバルブのこう着。又はゴミ噛み	バルブの清掃・交換
	ポンプが空気を吸っている	給水口のホースジョイントの増し締め。 又はOリングの点検・交換
	ポンプ内のシール・パッキンの磨耗、損傷	シール・パッキンの交換
フォグノズルからの吐出が霧にならない。	ポンプが空気を吸っている	給水口のホースジョイントの増し締め 又はOリングの点検・交換
	ポンプ内のバルブのこう着。又はゴミ噛み	バルブの清掃・交換
	フォグノズルの磨耗。	フォグノズルの交換
	圧力調整バルブ(アンローダバルブ)からの圧力漏れ	圧力調整バルブ(アンローダバルブ)の分解整備 パイプスニップル・ローピストンの交換
フォグノズルの霧が安定しない。	圧力調整バルブ(アンローダバルブ)のゴミ詰り。磨耗	圧力調整バルブ(アンローダバルブ)の分解整備 必要に応じて部品の交換
	ポンプ内のバルブの磨耗	バルブの交換
	ポンプ内のシール・パッキンの磨耗、損傷	シール・パッキンの交換
モータが回らない。	<ul style="list-style-type: none"> ・電源の不良。 ・サーマルリレー(TH)がトリップしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を入れてください。(単相, 100V) ・発電機の使用等で電圧降下を起こすと起動不良をおこします。又キャブタイヤコード延長等で電圧降下が起きると起動不良を起こします ・通気の悪い場所での長時間運転をさけてください

電気回路図



サーマルリレー復帰方法（保護装置）

サーマルリレーは、異常に圧力が上昇しポンプが過負荷になった場合や、電源に異常がある場合などで保護装置として作動します。

3分ほどで温度が下がりますので作動原因を取り除き、ボタンが飛び出している場合、押しして復帰させてください。



※カバーを開けてポンプユニットのサーマルリレーを解除
(カバーの開け方は、D13 参照)



無料修理規定

1. 保証の内容

製品を構成する純正部品に、材料又は製造上の不都合が生じた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、無償修理致します。(以下この無償修理を保証修理といいます。)
保証修理は部品の交換、あるいは補修により行います。また、取り外した不都合部品はスーパー工業㈱の所有となります。

2. 保証期間

保証修理の受けられる期間は製品を引き渡した日より起算し、一年間以内または使用時間が500時間に達するまでといたします。

3. 保証できない事項

(1) 次に示すものに起因する不具合は保証修理致しません。

- ① 弊社の「取扱説明書」に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検方法・禁止事項・保管方法を守らず、それが原因で生じた故障と認められた場合。
- ② 弊社が示す使用の限度を越える使用。
- ③ 弊社が認めていない改造又は変更。
- ④ 純正部品及び指定している油脂類(潤滑油・燃料油等)以外の使用。
- ⑤ 経時変化による自然変色発錆。
- ⑥ 機能上に影響のない単なる感覚的現象(音・振動・外観上の軽微な傷等)
- ⑦ 天災・地変による損傷。
- ⑧ 弊社以外で修理され、それが原因で生じた故障と認められた場合。
- ⑨ アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- ① 損傷部品を紛失された場合の修理費用。
- ② 不具合による休業保証・レンタル料・電話代等二次的損失。
- ③ 下記に示す消耗部品及び油脂類等。
各フィルタエレメント・ランプ・計器類・ノズル・パッキン・ゴムホース・シール等及びこれに類する消耗部品。

<ご注意>

保証の請求には、必ず本証書をご提示ください。ご提示なき場合は保証しかねる場合があります。

ご使用前に取扱説明書をよく読んでください。

※アスベストや危険粉塵を含む環境や放射線に被曝したおそれのある環境で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害するおそれがあるため、修理はお受けできません。

わからない事や、故障したら

- ご使用のスーパーフォグシステムについてわからない事や故障が生じた時に、次の事を確認の上、販売店又は、弊社までお問い合わせください。

- (1) 型式名と機番
- (2) ご使用状況（どんな時に）
- (3) ご使用時間
- (4) 故障状況（水を吸わない、圧力が上がらない、モータが始動しない等）